

在宅取組型（保育園）

学校名等	飛騨市立旭保育園
実施日時	令和元年度 夏休み（9日間）・冬休み（10日間）
会場	各家庭
参加人数	全園児親子（58組）
学習課題（分野）	早寝・早起き・朝ごはん・一日一回うんち
運営者の願い	子どもたちが、毎日規則正しい生活ができてきているか、チェック活動を行うことで、保護者が生活リズムを見直す機会にしてほしい。

学習の内容

<取組の流れ>

=取組のテーマ=

きそくたださいせいかつで いつもげんきなあさひっこ
—— げんきスターゲットだぜ! ——

- ① 夏季休業に入る前に、保護者会だより『あさひ』において取組のお願いをする。
- ② 同時に、丸型のチェックカードを配付。
- ③ **早寝** **早起き** **朝ごはん** **一日一回うんち** のうち、3つできたらカードに色を塗る。
- ④ 取組後、親から子どもへのメッセージを書き、園に提出。
- ⑤ 冬季休業にも同様に取組む。
- ⑥ 取り組んだチェックカードは、表に子どもの顔写真を、裏にはキラキラ星を貼ったメダルにはさみ、返却する。



幼児学級委員によるアイデアいっぱいの工夫

- ◎保護者や園児が、楽しみながら取り組めるように、テーマのキャッチフレーズを考えた。
- ◎取組期間を限定したチェック内容に、完璧ではなく、「ゆるさ」を設定することで取り組みやすくした。
- ◎取組後には、チェックカードに顔写真やごほうびシールを貼り、メダルにして返却。子どもの成長の足跡のひとつとなっている。



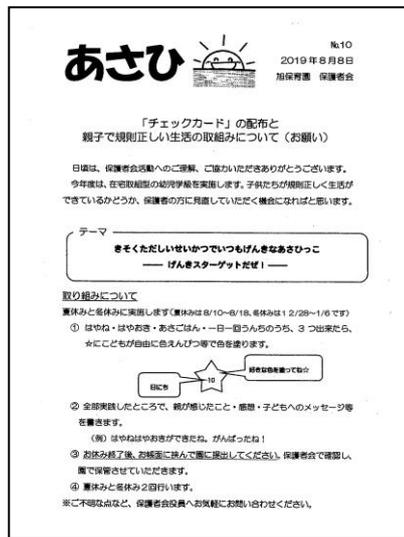
幼児学級委員の積極的な活動

- ◎「在宅取組型」のよさを広めるために、年2回の取組を計画し、親から子どもへのメッセージを大切にすることで、親の意識を高めた。
- ◎取組に対する願いや方法について、全保護者が共有できるように、保護者会通信「あさひ」により、ていねいな周知を図った。



生活習慣について深まる親の気づき

- ◎家庭で身につけさせる基本的な生活習慣に対する親の意識を高めることができた。
- ◎日々、何気なく繰り返されていることを、意識的に積み上げていくことの大切さに気づくことができた。



<保護者の感想>

夏休み

- 休み中は、寝るのが遅くなってしまいう日が多かった。
- どうして毎日朝ごはんを食べないといけないのか、子どもに話すことができた。
- 4つのうち3つできたら色をぬるという簡単な取組だったことがよかった。

冬休み

- カードの色ぬりがあることで、子どもは張り切って取り組み、最後はペンダントにしてもらえてとても喜んでいました。
- 生活習慣について、親自身が再確認するよい機会となった。
- 生活が乱れがちな長期休みに、この活動があったのでよかった。



<取組の成果>

- 「規則正しい生活」が、体調や行動をシャキッとさせる体験となり、親子で意識を向けることができた。
- 親が言わなくても、子ども自身が取り組む姿が見られるようになった。
- 色塗りをすることで、成果が目に見えるため、前向きに取り組めた。